

# ⑤ 大乃伎・蛇池散策コース 約 4.4 km

## ① 陽岳寺

ようがくじ



足利時代創建、阿彌陀如来が本尊。境内の観音堂には聖観音菩薩像があります。また不動明王堂は、尊像を盗み出した不心得者が、歩くことができずに背負ったまま堤防下に倒れていたという伝承から「足止不動尊」とも呼ばれています。



## ② 福昌寺

ふくしょうじ



開基は塙右近、あるいは塙宗悦と諸説あります。もとは庄内川堤岸にありましたが、たびたびの水害で正徳2年(1712)に今の場所に移ったとされています。

庄内緑地公園駅から庄内川右岸沿いに、いくつかの古い神社や寺を訪ね歩く静かな散策コース。また、庄内川沿いの豊かな自然を楽しみながら歩くことができます。

## ③ 大乃伎神社

おおのぎじんじや



「延喜式神明帳」にも明記されている神社。名古屋城の北方鎮護の社であったため、昔からあつく信仰されています。城内御殿奉公女中が寄進した瀬戸焼の唐犬一対、神鏡二面などがあります。昔庄内川にあった「稻生の渡し」への道しるべが境内に移設されています。境内にあるボダイジュは名古屋市指定文化財。

## ④ 洗堰

あらいぜき

天明7年(1787)完成。庄内川の氾濫を防ぐために、庄内川の一部を切り出して造られました。あわせて新川を開削し、庄内川の増水時には洗堰を通して新川に流れるようになっています。

## ⑤ 蛇池

じゃいけ



池に大蛇が棲むという噂があり、若き日の織田信長がその噂を聞いて探した話など、さまざまな逸話が伝わっています。毎年4月第2日曜日に「櫃流し」神事が行われます。また、春になると堤防がきれいな桜並木になります。

## ⑥ 佐々成政城址・光通寺

ささなりまさじょうし・こうつうじ



織田信長の臣であった武将、佐々成政の居城があったとされるのが、現在の光通寺一帯。敷地内に佐々成政城址の碑があります。

## ⑦ 六所神社

ろくしょじんじや



創建は不明ですが、天文年間(1532~1555)以前と思われる。北比良の二福神車山車と南比良の湯取神子山車はいずれも名古屋市指定文化財で、隔年10月の例大祭で地区内を練り歩きます。また、毎年7月7日の天王祭では山車保存会による神楽囃子の奉納があります。

